

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名						
03103	国保運営趣旨普及事業	住民税務課	国保医療係	松井 夕起子	今福 孝枝						
		一次評価年月日	平成 22 年 6 月 28 日	連絡先(内線)	2103						
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分			事業コード	事業名(歳出予算見積書)					
		<input type="checkbox"/>	一般	<input checked="" type="checkbox"/>	特別	0338	国民健康保険事務				
	<input type="checkbox"/>	一般	<input type="checkbox"/>	特別		#N/A					
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)			2章	安らぎとうのいのある社会				
		節	(コード選択)			3節	社会保障を充実し健やかな暮らしを守る				
		項[基本施策]	(コード選択)			232	国民健康保険・老人保険制度の充実				
主な取り組み		(コード選択)			2326	運営趣旨と制度の正しい理解と普及の促進					
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/>	第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/>	3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/>	主要業務報告	<input checked="" type="checkbox"/>	その他			
事務期間	(開始)		年度	~	(終了予定)		年度	<input checked="" type="checkbox"/>	開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/>	終期設定なし

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

国民健康保険加入者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

安心して医療の提供を受けられるために、国民健康保険制度が加入者の保険料や国の補助金で運営されていることを理解してもらう。また、将来の病気を未然に防ぐために健診等の実施を行う。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 加入・脱退等、異動の届けを速やかに行うことで自費診療や保険料の二重払い等をなくす。
- 医療費の大きな財源である国民健康保険税の納付促進
- 特定健診の勧奨
-

指標化

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)
① 指標名	国保のしくみの啓発	回	14	14	14		14
説明	広報や、国保証発送時のパンフレット、医療費通知の発送等	目標値設定の根拠	「信濃の地域医療」の各戸配布、パンフレットの配布回数				
② 指標名	国保税の収納率の向上	回	3	3	3		3
説明	「税の広場」発行や、滞納者との納税相談の実施	目標値設定の根拠	「税の広場」の発行回数、滞納整理強化月間での納税相談回数				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度(見込み)	年度(見込み)
① 指標名	加入・脱退等の早期届出の促進、頻回受診の抑制	回	14	14	14		14
説明	チラシ等による啓発	目標値設定の根拠	医療費抑制のため保険税の有効活用				
② 指標名							
説明		目標値設定の根拠					

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	3,386	2,880	2,898	2,898						
対前年比		%		85.1	100.6	100						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)												
B) 一般財源(税金)												
①事業費		(千円)	1,041	998	1,000	1,000						
対前年比		%		95.9	100.2	100						
②人件費の概算		(千円)	2,345	1,882	1,898	1,898						
対前年比		%		80.3	100.8	100						
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
			H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/	
町職員(正規職員)			0.01 0.01 0.01	0.06 0.06 0.06	0.00 0.00 0.00	0.19 0.19 0.19	0.33 0.26 0.26	2,345	1,882	1,898	1,898	
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0	0	0	0

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった 被保険者全員の医療費が伸びたわけではないが、多額の医療給付のケースがあった為に総医療費の抑制とまでは行かなかった。 C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → 特定健康診査等事業 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → 医療費の抑制になかなか歯止めがきかず、保険料の値上げが必要である。 D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → 国保運営協議会の委員等から加入者としての意見を把握している。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

20年度から始まった後期高齢者医療制度や特定健診の保険者への義務化等、医療情勢をとりまく環境が激変し、住民に説明しなければならない担当者自身も、制度を理解していくのに精一杯であった。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

せっかく定着したかに思えた後期高齢者医療制度も廃止決まり、25年度からまた新たな制度が始まることになり、混乱が予想される。国の動向に注視していきたい。

22年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

国保会計総務費のなかに含めてある。

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

頻繁に行われる医療制度の改革により担当者も制度理解に苦慮するが、制度の理解を得るよう住民周知の徹底を図る。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
- B. 貢献度 中
- C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



上記 a~e を選択